

サイエンスキャンプに参加してきました！

10月21日（土）・22日（日）に大村市の長崎県教育センターにて開催された「平成29年度サイエンスキャンプ」に、2学年国際科の8名（2-6上島、池田、川原、田中、2-7阿部、黒岩、坂本、山口）が参加しました。サイエンスキャンプでは、県内の高校から課題研究に取り組む高校生たちが集まり、互いの研究について発表したり、質疑応答したりしながら、今後この研究をどう進めていくべきか、その方向性や手法を考えるというのが最大のテーマでした。長崎東高校からは4班が参加し、1班「食べ物によって口内細菌がどのように変化するか」、2班「（ベトナムの石炭灰による健康被害を背景に）マスクを作ろう」、3班「除菌スプレーでどこまで除菌できるか」、4班「蚊の忌避効果のある石鹸について」というテーマで各班が発表しました。講師の先生方からは、微粒子研究の難しさと高校生でできる実験、細菌研究の危険性と正しい手法について教えていただき、大変有意義な活動となりました。生徒たちからは「他校の研究や発表を聞いて刺激を受けた」「プレゼンテーションの勉強になった」「今後の研究の方向性が見出せてよかった」などの声があり、得るものが多い活動となりました。また、「普段は研究に時間を取ることができないが、この合宿中は研究だけに没頭できて良かった。これからやるべきことを整理できた」という意見もありました。この経験を活かし、さらにGS IIの活動を活発に実りあるものにしていくことができると思います。



「東南アジア青年の船」との交流会を実施しました！

10月27日（金）に第44回東南アジア青年の船のみなさんが来校され、2年国際科の2クラスが交流活動を行いました。野田校長先生の英語によるウェルカムスピーチから始まり、ナショナルリーダーの方にご挨拶をいただいた後、2年7組の4名（高島、本田、樋口、山口）が英語で学校紹介を行いました。事前に練習を重ねていたこともあり、写真を使ったとてもわかりやすいプレゼンテーションとなりました。その後、グループに分かれて校舎内を案内して回りました。お互いの文化や考え方についても情報交換し、連絡先を交換しているグループも見られました。最後に記念撮影をし、後半は2年6組の生徒と将来の夢について英語で語り合いました。最後は2年6組の川原さんが英語で挨拶をして締めくくり、笑顔があふれる非常に有意義な交流会となりました。内閣府や推進センターの方々からも「学校訪問がこんなに円滑にかつ盛り上がった事例はそうない」とお褒めの言葉をいただき、生徒たちも自信につながったようです。参加した生徒からは「人生で一度あるかないかの経験ができて、やってよかったと思いました」「英語で学校を案内するという緊張もありましたが、良い経験をすることができました」といった声が聞こえました。

